

2025/2/12

第 28 回福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会「各町村教育委員会の現状と課題」資料

町村名	浪江町
町村立学校名	浪江町立浪江にじいろこども園 浪江町立なみえ創成小学校、浪江町立なみえ創成中学校
就学園児・ 児童生徒数	こども園 5 2 名・小学校 4 8 名・中学校 2 4 名（令和 6 年 5 月 1 日現在） こども園 6 6 名・小学校 5 4 名・中学校 2 5 名（令和 7 年 2 月 1 日現在）
現状と課題	
<p>1 新たなふるさと“なみえ”への思いの醸成（震災記憶の伝承）</p> <p>ふるさと創造学の学びの充実「“これまで”の理解」・「“今”の分析」・「“これから”への発信」を通して、将来の浪江町（福島）を支える有為な人材の育成に取り組んでいる。</p> <p>○地域の人材や素材、環境を活用した教育の推進及び F-REI との連携強化による教育活動の展開・・・地域資源の活用「かぼちゃまんじゅうソフト」の共同開発とふるさと創造学発表（中） ○新しい価値観を踏まえた教育（ゼロカーボンシティ・水素タウン構想・スマートモビリティ等）を通じた学びにより、誰一人取り残さない多様性と包摂性のある持続可能な社会の実現を目指す教育(SDGs)の推進・・・水素バスの電気エネルギーの利活用とふるさと創造学発表（小） ○子ども議会を通して、社会を生き抜く力や具体的な地域の課題解決に主体的に取り組もうとする力を身に付ける主権者教育の推進・・・子ども議会の提案の実現「すき家浪江店」</p> <p>○震災遺構浪江町立請戸小学校の整備と活用による防災教育の推進・・・令和 7 年 2 月来館 2 0 万人達成予定</p> <p>2 様々な配慮を要する児童生徒の転入への対応</p> <p>○教職員の組織的な資質向上による、少人数教育や特別支援教育の向上 ○一人一人の個性に対応した指導～主体的な学びへ・・・保護者参観（小学校）「哲学対話」の実施、保護者授業体験、保護者間の交流促進。 ○1 人 1 台タブレット端末の整備 ○小学校・中学校間の相互指導・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の連携による対応・・・茶話会の実施 ○小中特別支援学級（知的・情緒）の設置（R6 中情緒）・学習支援員（町採用）の配置</p> <p>3 極少人数の環境下での社会性・コミュニケーション力の育成</p> <p>○複数学年・校種合同による教育活動の展開・・・「哲学対話の手法を用いた道徳公開」の実施（小中連携）</p> <p>○架け橋教育（保幼小連携）・・・小学 2 年「道徳（哲学対話）」参観、こども園参観 ○哲学対話の実施。各教科の単元構想に位置づけ ○保幼小連携、小中連携による活動 ○様々な団体や学校等との多様な交流活動、地域ボランティア団体との連携（含・放課後児童クラブ、週末こどもチャレンジ） ○大学生とのコラボレーション・・・福島大（陸上）、弘前大（川の生物・放射線） ○ICT 機器活用による複数校との遠隔合同授業の実施・他の学校への訪問交流、授業参加・・・葛尾中（哲学対話） ○英語体験学習（TGG）</p> <p>4 子育て家庭の不安感の解消、教育力向上</p> <p>○こども園「子育てサロン」の定期的な開催 ○子育て相談・・・こども家庭センター設置、小児科オンライン診療開始 ○保護者間の情報交換</p> <p>5 園児増加に伴う保育環境の整備</p> <p>○施設の整備と職員配置（看護技師配置）・・・園拡張工事着工（令和 7 年度内）、令和 8 年度末完成予定。</p>	

町村名	葛尾村
町村立学校名	葛尾幼稚園、葛尾小学校、葛尾中学校
就学園児・ 児童生徒数	幼稚園 8 名、小学校 1 6 名、中学校 5 名
現状と課題	
<ul style="list-style-type: none">• 葛尾村の現状• 学校の状況• 子育て世帯への支援	

町村名	双葉町
町村立学校名	ふたば幼稚園、双葉南小学校、双葉北小学校、双葉中学校
就学園児・ 児童生徒数	園児 1 名、南北小学校児童 20 名、 双葉中生徒 17 名 計 38 名
現状と課題	
<ul style="list-style-type: none"> • 令和 5 年度 双葉町学校設置基本構想策定 • 目指す学び 「共育」「地域」「世界」「復興」 • 目指す学校 「わたしの学校」「みんなの学校」「つながる学校」「そなえる学校」 • 【認定こども園、義務教育学校、学童保育】 • 令和 6 年度 双葉町新学校施設整備基本計画（案） • <u>令和 7 年 3 月 5 日 双葉町総合教育会議にて決定。</u> • <u>◎ 開校目標； 令和 10 年 4 月</u> • 〈カリキュラムの方向性〉 • 双葉町が目指す国際人の育成に向けて • 1) グローバル・シチズンシップ • 2) 幼少期からの外国語（英語）活動 • 3) 世界につながる異文化体験 • 令和 6 年度双葉町生徒海外派遣事業 2 / 16 ~ 2 / 22 • 訪問先 英国（ハル市・ビバリー町） 	

町村名	大熊町
町村立学校名	認定こども園 義務教育学校 学び舎ゆめの森
就学園児・ 児童生徒数	認定こども園 28名 義務教育学校 45名 合計 73名
現状と課題	
<ul style="list-style-type: none"> • F-REIやイノベ機構と連携し、地域の未来を担う人材を育成するための魅力的な教育活動の持続可能な展開 →双葉郡教育復興ビジョンの継続・進化により、地域における教育力の充実・発展 • 帰還者・移住者の定住促進につなげるために、魅力的な教育活動の発信 →グリーン留学による体験入学の開催 →お試し住宅による居住体験 • 新たなコミュニティの創生と地域で学校を支える仕組み作りと社会教育事業の充実 →地域学校協働本部事業による地域と学校が一体となった魅力的な学びの充実 →コミュニティスクール体制への環境整備 • 磐梯町との連携協定による教育イノベーションの推進 	

町村名	富岡町																																																				
町村立学校名	富岡町立認定こども園（にこにここども園） 富岡町立富岡小学校 富岡町立富岡中学校																																																				
就学園児・ 児童生徒数	園児数 64 名、児童数 67 名、生徒数 22 名（令和 7 年 2 月 1 日現在） 園児数 60 名、児童数 74 名、生徒数 26 名（令和 7 年 4 月 1 日見込み）																																																				
現状と課題																																																					
<ul style="list-style-type: none"> 【こども数の推移】 富岡町内の施設に通う子どもの数は年々増加しています。 H30～R6 こどもの数の推移 （単位：人数、5 月 1 日時点） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7 見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>35</td> <td>34</td> <td>35</td> <td>46</td> <td>61</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>14</td> <td>20</td> <td>15</td> <td>23</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>20</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>こども園</td> <td>10</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>48</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>63</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>49</td> <td>70</td> <td>80</td> <td>105</td> <td>116</td> <td>132</td> <td>144</td> <td>160</td> </tr> </tbody> </table> 【課題】 <ol style="list-style-type: none"> 子どもの人数の増加や保育ニーズに対応するため、保育教諭を確保しなければならないが、募集人数が少なく、人材不足が課題となっている。 年度途中の転入生が多く（R6 年度は小学校 10 名・中学校 4 名）、学級経営やこどものケア等で教職員が多忙となっている。今年度は小学校 6 年生が 12 月に転入した事例があった。 日本語を話すことができない子どもも転入してきており、日本語教育が教職員の負担となっている。 										H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7 見込	小学校	25	25	35	34	35	46	61	74	中学校	14	20	15	23	21	21	20	26	こども園	10	25	30	48	60	65	63	60	合計	49	70	80	105	116	132	144	160
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7 見込																																													
小学校	25	25	35	34	35	46	61	74																																													
中学校	14	20	15	23	21	21	20	26																																													
こども園	10	25	30	48	60	65	63	60																																													
合計	49	70	80	105	116	132	144	160																																													

町村名	川内村
町村立学校名	川内村立川内小中学園
就学園児・ 児童生徒数	かわうち保育園 園児 25名 川内小中学園 前期課程 52名 後期課程 19名 合計96名
現状と課題	
<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川内村人口 2224人（2月1日現在） 村内生活者 1856人 内65才以上 968人 高齢化率 52.2% ・義務教育学校4年目 敷地内に幼保連携型保育園「かわうち保育園」併設 ・異学年交流、縦割り活動、ランチルームでの合同給食 ・後期課程教員による前期課程への乗り入れ授業実施・・・義務教育のよさ （体育1～6年、算数、社会5・6年、理科6年） ・ふくしまっ子体力・健康優秀校受賞（なわとびコンテスト） 福島県9人以下の部 5年生 第1位 ※体力向上、学力向上に有効な広い廊下（縄跳び、鉄棒、自学ノート、作品展示等） ・グローバル人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ○後期課程生徒のブリティッシュヒルズ研修 ○英語検定年1回検定料村が補助 R4年度 優秀団体賞、R3・5年度 奨励賞 R6年度現在 後期課程19名中 準2級2名、3級3名、2年前は準1級合格者も ・川内小中学園内で「放課後児童クラブ」「放課後子ども教室」を合わせた「放課後こども総合プラン事業」を実施 ・川内小中学園内で村営の学習塾「興学塾」と「ピアノ教室」を実施 ・地域文化伝承教室「コミュニティハウスにじいろ」利用者大幅増加 （R3 1185人、R4 2143人 R5 2388人 R6 2727人1月末） ※3つの機能 ①地域文化伝承教室 ②コミュニティースペース ③公民館的機能 ・村が各大学と包括連携協定を締結し村の復興、活性化、児童生徒の支援等で貢献 福島大学（平成24年）長崎大学（平成25年）玉川大学（令和5年） <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒数の減少→複式学級であるが加配教員により単式で （次年度予定）かわうち保育園 園児 27名 川内小中学園 前期課程 49名 後期課程 22名 合計98名 ・複雑な家庭環境や支援を要する児童生徒の増加→支援員，SC，SSW ・今後も継続的な教職員加配措置、SC，SSWの配置 	

町村名	楡葉町
町村立学校名	楡葉町立あおぞらこども園 楡葉町立楡葉小学校 楡葉町立楡葉中学校
就学園児・ 児童生徒数	園児数：127 名 児童数：153 名 生徒数：66 名 計 346 名
現状と課題	
<p><町の現状></p> <p>住民基本台帳人口：6,411 人（令和 6 年 12 月末） 町内居住人口：4,477 人（約 69.8%）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 町の政策の柱として <ul style="list-style-type: none"> 「魅力ある教育」：個に応じたきめ細かな指導・支援 「農業の再生」：6 次化商品の開発と販売促進（さつまいも、ゆず等） 「スポーツの振興」：楡葉町総合運動公園と J ヴィレッジを核としたスポーツ推進と交流人口の拡大 • こども園、小学校、中学校 <ul style="list-style-type: none"> 「こども課」：出産前から成人までの子育て世帯への継続観察と支援、情報の共有 楡葉町こども計画策定委員会を設置、検討中 「幼少中連携」：発達段階に応じた一貫した見通しのある教育の推進 楡葉町がめざす英語教育の基本プランを作成 「中学校」：JAF アカデミー福島女子の帰還、生活文化や地域理解、将来の目標等に相乗効果 「地域学校協働センター」：体験活動を重視した放課後学習 「コミュニティースクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る 文部科学大臣表彰受賞（2/28 表彰式） 「ギリシャ・オリンピック市との交流活動」：令和 6 年 11 月 11 日～11 月 18 日 （ふくしまの未来をつなぐ体験応援事業）小学 6 年 4 名が訪問、交流活動実施 • 福島県立ふたば支援学校が旧楡葉北小学校跡地に新校舎落成（1/22）、授業開始 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> • 支援を要する家庭や園児・児童・生徒の増加 → 支援員、加配教員、SC、SSW 継続した配置を要望 • 企業誘致に伴う外国籍家族の転入増加 → 文化や言語、生活習慣等の支援 	

町村名	広野町
町村立学校名	広野こども園、広野小学校、広野中学校
就学園児・ 児童生徒数	360 広野こども園96、広野小学校142、広野中学校122
現状と課題	
<ul style="list-style-type: none">異校種間で連携し、指導の一貫性を保持した普通教育の推進学校図書館の充実と読書活動の推進グローバル人材育成の推進（広野中学校グローバルデイ、広野小中学校ブリティッシュヒルズ異文化交流体験活動）広野町教育環境の整備（広野町教育環境グランドデザイン）特別な支援を必要とする児童生徒数の増加と就学適切環境への保護者の理解促進ふるさと創造学の充実広野町立学校運営協議会の活動の推進	